

「同窓会・学生団体室」整備について(案)

1・目的

〔「同窓会・学生団体室」整備の必要〕

- (1) [見える化] 何が何処にあるか判らず。必要時直ぐ出せるよう整頓する。
- (2) [地震対策] 現ラックは地震対策がなされていき、又地震に耐える強度不十分と思われる。
- (3) [有効利用] 不要と思われるものが場所を取っています。不要なものは廃棄し、場所の有効利用を図る。

2・整備方法

〔3種類のラック〕 強度のあるラックを設置し、地震対策を施します。

- (1) 重量ラック 変更後見取り図 (ラック③&④)

〔高さ2400mm×奥行900mm×ビーム(間口)2100mm4段〕×2連 《特注》

- ①テント支柱→190mmを収容。(テントポールを収納するためこのサイズ)及び上段に各サークル衣装箱収容。
- ②大学のカウンター →180mmを収容。灯油ストーブ6基収容。配線リール・ホースリール収容。

- (2) 中量ラック 変更後見取り図 (ラック①&②)

〔高さ2400mm×奥行600mm×ビーム(間口)1800mm5段〕×2連 《標準品》

- ①現「同窓会」「サークル協議会」で使用中ラックの代替。

- (3) 縦型ラック 変更後見取り図 (ラック⑥縦型)

〔高さ2400mm×奥行最低900mm間口900×3連=2700mm〕 《標準品》

- ①看板類縦型収納 ②掃除道具…スコップ・箒 ③スクリーン等縦型収容用(3区分にすると便利)

- (4) 地震対策 変更後見取り図 (ラック間“梁”)3種類のラックの天井に「梁」を何箇所か設置(倒壊防止)

床の部分も“梁”設置が必要な場合は、「床梁」の高さに合わせた、床材を一面に敷き段差を無くする。

※ 床の段差は危険「床材」を使用する場合は、「床スロープ」も必要。

※ 各棚 ⇒ 棚から収納品が滑り落ちないよう、対策を施す。

3・利用基準 「見える化」および「管理責任者」を明確にします。

- (1) 整理

整理とは「要るもの」と「要らないもの」を明確にすることです。

【関係者=定期的点検】

①不要品・死蔵品→廃棄処分 【捨てる基準を明確に】

②滞留品・端材 →要・不要を判断し「不要」が処分対象

- (2) 整頓

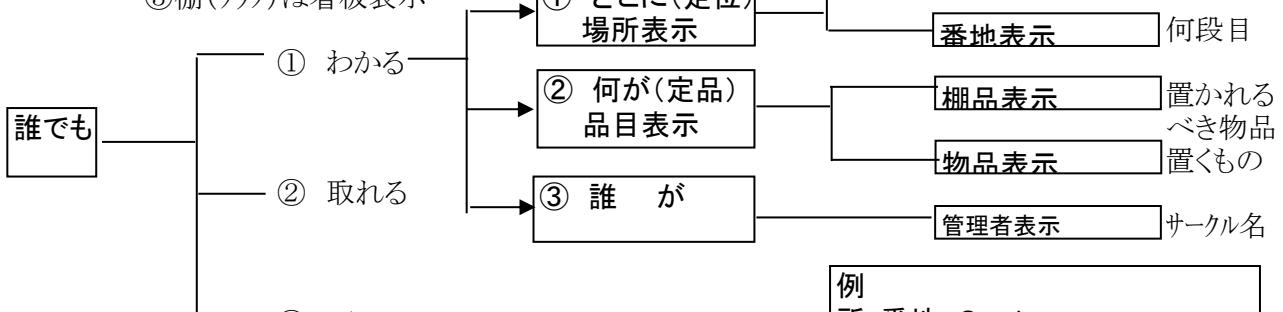
整頓とは「ものの置き方の標準化」をいいます。

【看板作戦=目で見る整頓】

①床への「直置き」をしない。

②床は線引きで区分

③棚(ラック)は看板表示



例
 所・番地 3-1
 棚品表示 テント支柱
 サークル名 サークル協議会

以上